事業所名　ケアワーカーズいぶき（いぶききっず）

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　2024 年　10 月　1 日

法人（事業所）理念		『ご利用されるすべての皆様に、笑顔と可能性を』 サービスをご利用される皆様と、共に歩む支援を心がけています。１人ひとりの可能性を追求し、その人らしさを発揮できるような支援を目指しています。		
支援方針		障がいのあるお子さまに安心して過ごせる場の提供を行い、さまざまな活動や人とのかかわりを通し、今の困りごとの解決と、将来の自立、社会参加を目指した支援（療育）を提供しています。「できなくて当たり前。できたら素晴らしい！」「まずはやってみよう！ナイスチャレンジ！」を合言葉に、「できた！」を増やし、「自信」につなげていきます。		
営業時間		9　時　00　分から　18　時　00　分まで	送迎実施の有無	あり　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活が出来るように支援します。小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細やかな観察を行います。 健康の増進⇒睡眠、食事、排泄など基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。病気の予防や安全にも配慮していきます。 基本的生活スキルの獲得⇒清潔な身の回りや食事、衣類の着脱、排泄などの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。		
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図るとともに視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援します。 感覚や認知の特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、感覚の偏りに対応します。 遊びや運動を通して音を聞くこと、音にあわせて身体を動かすことによるリズム感や表現力・協調性を育めるよう支援します。		
	認知・行動	当日の日付・曜日・スケジュールを視覚でわかるように掲示し、概念の習得を図ります。 感覚や認知の活用⇒視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。 知覚から行動への認知過程の発達環境から情報を取得し、選択し、行動につなげる認知過程の発達を支援します。		
	言語 コミュニケーション	簡単なあいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得を促進します。 個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。 指差しや身振り、サインなどを活用して、環境の理解や意思の伝達を支援します。障害の特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。		
	人間関係 社会性	ひとり遊びや協同遊びを通し、自己理解・他者理解を養います。 アタッチメントの形成⇒人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 模倣行動の支援 遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。		
家族支援		支援後のフィードバック（サービス提供記録）や保護者面談等を通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認を行います。 様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行います。	移行支援	就学に向けての情報提供や支援を行います。具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 相談支援事業所や保育園等との連携をはかり、支援体制を構築します。
地域支援・地域連携		関係機関（保育園・幼稚園や相談支援事業所、併用利用事業所等）との情報共有、連携を行います。	職員の質の向上	全職員を対象とした、定期的な職員研修会を実施します。 外部講習や勉強会に参加支援します。 定期的にカンファレンスや活動検討会議等を実施します。
主な行事等		季節ごとの行事（節分、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン等）を実施しています。 制作活動や体験、レクリエーションを実施しています。 天気の良い日は、事業所近辺のお散歩活動を実施し、気温の変化や景色の変化を体感しています。		